

今花開く犬山の観光戦略

—30年前に決断した市長の先見力を我々のビジネスに—

城下町の参道を埋め尽くす観光客、高山祭と並び注目される犬山祭りのからくり山車、タイム誌の世界観光百選にも選ばれた犬山。今年のインバウンド増加率全国一位となった犬山市は、愛知の観光地の先進事例になっています。これには元犬山市長の石田芳弘氏による先見的政治力が功を奏したものと考えられます。

30年前の犬山の姿はどのようなものだったのか、どうやって時代の変化を先取りできたのか、政治家の視点から語っていただきます。政財界に通じた経験と鋭い感性を持つ石田氏の報告には、これからのビジネスを考えるヒントが盛り込まれています。我々はどのようなビジネスで未来を築くのか、一緒に考える場とすることを本定例会の目的とします。

報告者 犬山祭り保存会会長 石田芳弘氏（元犬山市長）

日時 令和6年9月25日(水)

参加者交流	18:00～
本日の報告	18:20～
質疑応答	19:10～
ゲスト紹介	19:40～
懇親会	20:00～
閉会	21:00

会場 ニパチプラス（中区錦 2-7-25 や台ずし 3F）

参加費 定例会 2千円（会員は無料）
懇親会 4千円（飲み放題付）
懇親会場：や台ずし 錦二伏見町



連絡先 (一社)愛知インバウンド協会 栗津啓介 awazu@belair.jp

*個人会員に入会ご希望の方は、右のQRコードからお申し込みください。
なお、ご入会には現会員による紹介が必要となります。

